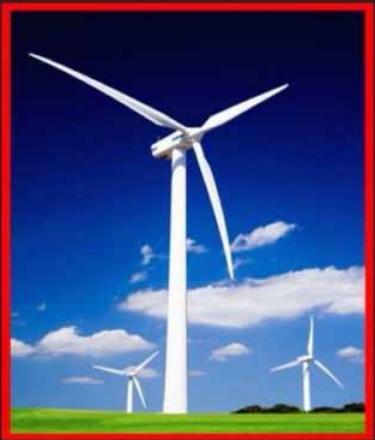


「風力発電を問う」—シリーズ10

- ・「北の守り」—国防について—
- ・「風車は風で回っていない!!!」
—驚くべき風車の実態—

風力、それは愚者の電力



たった2メガワットの風力発電所には260トンの鉄鋼
が投入され、その製造には170トンのコークス炭と
300トンの鉄鉱石を要し、そのすべてが炭素と水素の
化合物を用いて採掘、運搬、製造される。風車が
擦り切れるまで稼働しても製造に必要とした
エネルギーを回収することはありえない。

—トマス・ホーマー・ディクソン

出所: ウェブサイト『Snopes』、2015年8月17日初出、2019年2月5日改訂)のエントリーより引用

Sponsored by: The Secret Society Of Anti-AGW/400 GtCO₂

<https://plus.google.com/communities/105383304209900999553>

3月30日北海道新聞朝刊に、洋上風力発電の記事が大々的に、掲載された。

群がる事業者と乱立する洋上風力の数は250基。途方もない数の風車が、石狩湾一圓に立ち尽くし、さらに環境アセス調査が1217基にも上る。

それに伴い、その送電計画も発表され、何と50年までに600万kWの海底ケーブル新設大事業が打ち出された。この国民の合意と論議無しの国土計画は、闇雲に為されがまま、済し崩し的に決定され、発表され、実行されて行く。

だが、その裏には、国防に関わる飛んでもない危険性、落とし穴が潜んでいることを、ご存じだろうか。それを懸念し指摘する識者が、与野党を超えて発言されている。

まほろば主人
宮下周平

一、陸続たる洋上風力
計画



道内洋上風力に弾み

会社名	所在地	風車数	総容量(MW)
石狩洋洋北風力発電合同会社	石狩市と小樽市の沖合	1005万台	100万
JEIA	石狩市と小樽市の沖合	52万台	52万
北洋北風上風力発電合同会社	石狩市と小樽市の沖合	55万台	55万
電力開発	石狩市と小樽市の沖合	100万台	100万
日本電力	石狩市と小樽市の沖合	60万台	60万
電力開発	せたな町と支笏湖沿	72万台	72万
送電設備整備計画のポイント			
■ 2015年の輸送能力を11.2GW(現程度と想定)と定め、それを実現する手立てとしての実証実験			
■ 両工事は大規模な計画に属するため、北海道運送連絡会議を通じて連携を図る方針			
■ 西日本でも電力供給を増強し、必要投資は全国で行われる方針			
■ 電力開発は、電力料金に差別される見込み			
に於いて金銭的・	し出しりし状況を度かかるス		

促進区域指定後押 コスト低減に課題 海底送電線新設

北海道新聞 2023年3月30日より

海底送電線 600万瓩新設

道内—東北 北本合わせ8倍

二、風車による 国の危機。国の

去る昨年5月。元防衛

大臣・小野寺五典議員が
国会質疑で、風車による

陸上、海上を問わず、車自体の持つ特性が、また車の間違えば兵器にも成り得るという現実を、防衛現場に立つた経験から語られているので、そのまま掲載したい。

ですが、その認可の検討過程の中で**安全保障上の要素**が入っていません。逆に言つて、事業をやりたい人は、土地を持つていれば、ある面でどんづくることができる。

そして現実に今起きてることは、**風車が回る**と**レーダー**がそこで**邪魔**をされる。今、**BMD**対応（イ－ジス弾道ミサイル防衛システム）でこの日本を守つて、空を守つている。自衛隊のレーダーが、風車が

すが、その忍可の僉討過程の中で安

全保障上の要素が入っていません。

逆に言うと、事業をやりたい人は、土地を持っていれば、ある面でじんじんつくることができる。

そして現実に今起きていることは、

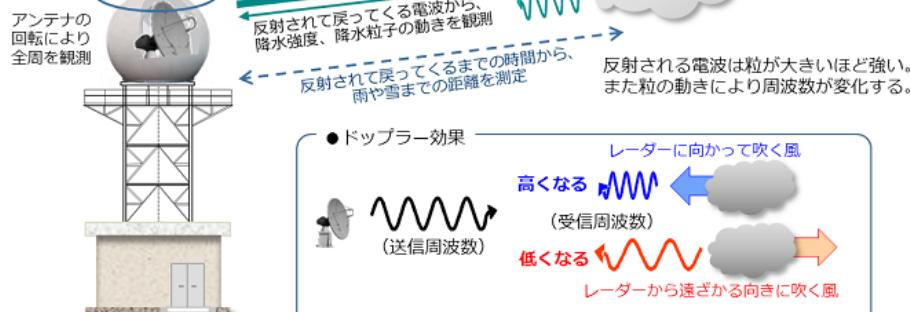
風車が回るとレーダーがそこで邪魔をされる。今、BMD 対応（イー

この日本を守つて、この空を守つていふ。自衛隊のレーダーが、風車が

出典：<https://www.youtube.com/watch?v=qR2PXeqd7f8>（他国会での写真すべて）

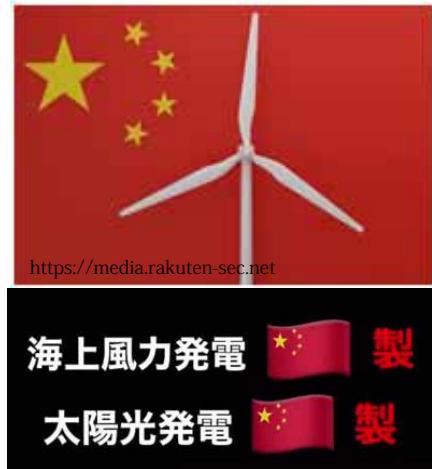


風のり



気象庁 HP より <https://www.jma.go.jp/>

できることによって誤差ができるしまつ大変な実はマイナスになります。また、防衛省だけではありません。最近は、国土交通省も大雨予想でレーダーを使っているんですが、これに影響が出ている。さらに、これ



<https://media.rakuten-sec.net>

車のほとんどは中国製と言われています。そして、この風車の資本はどこから入っているかわからない。こんな状況の中で、意図的に風車が

安全保障上大事なところに

われてしまい、そしてそのお金は日本

国民から電気用にプラスされて支払われている賦課金の問題ですとすれば、相手からしたらお金をもらえない

わ、安全保障上このようない妨害

がたくさん立つと、航空機の進入にも、もしかしたら心配ではないか。いろいろなことで今心配が起きてします。ぜひお願いしたいのは、このレーダーの問題。

がたくさん立つと、航空機の進入に

はできるわの話。

恐らくそんな意

圖はないと思いますし、今やつてのでも、今の法律の中ではできてしまふ。ぜひこのことに関して経産省として、しっかりと安全保障上の問題も含めて許認可を出すということを進めさせていただきた

いと思いますが、いかがでしょうか。

等の関係省庁へ事前相談を行うことを促しているところです。



A .. 経済産業大臣 萩生田 議員

風力発電設備の大型化に伴い、風車の設置場所や設備構造によっては警戒、管制レーダー等の防衛施設に影響を与えるおそれがあることは認識をしております。防衛施設等への影響を防止するために、本年4月に再エネ特別措置法に基づく事業計画策定ガイドラインを策定し改定し、風力発電事業を計画する事業者に対して事業計画の初期段階から防衛省

しかしながら、これは先生が今日、一連の安全保障の問題提起をしてくださいました。「事前相談して、そこはレーダーに干渉するからやめてくれ」と言われると、その情報を相手に与えてしまうことにもなると思いますので、ここは今回、自民党の提言も踏まえまして、より実効性のある仕組みの構築に向けて、防衛省など関係省庁と緊密に連携しながら、政府全



Q.. 小野寺議員

所管が経済産業省ということになりますので、政府全体は理解しますが、ぜひ経産省が先頭に立つてこれを直していただきたい。

いりたいと思います。

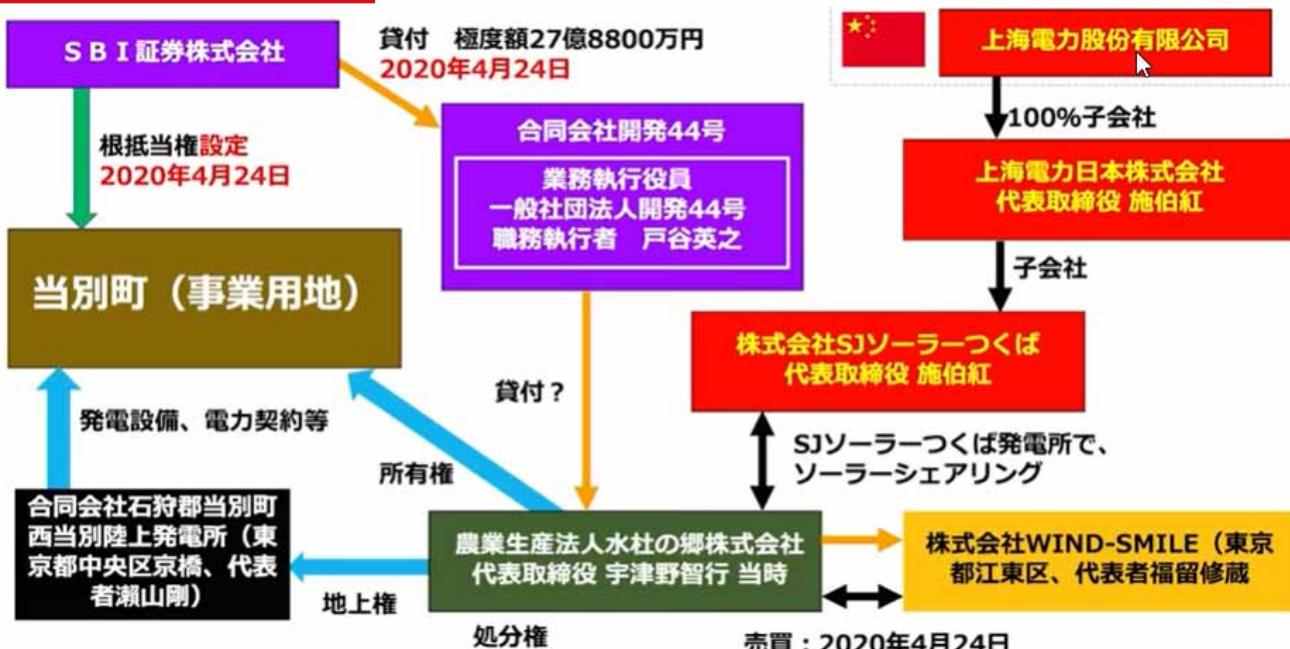
あらかじめ言つならば、ネガティ

ブゾーンがあるんだとすれば、そこはもう最初からするものは立たない。都市計画とも連動しながら、土地の用途地域なども含めてあらかじめ抑制することも考えていきたいと思っています。

(中略)

国防にかかわる国民の安全にかかる問題でもあります。よろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。今日は、さまざま質問をさせていただきました。

想定買収スキーム：2020年4月24日《西当別風力発電事業において》



出典：「全部事項証明書」デイリー Will より <https://www.youtube.com/watch?v=hvLk14alfAQ>

出典：全部事項証明書

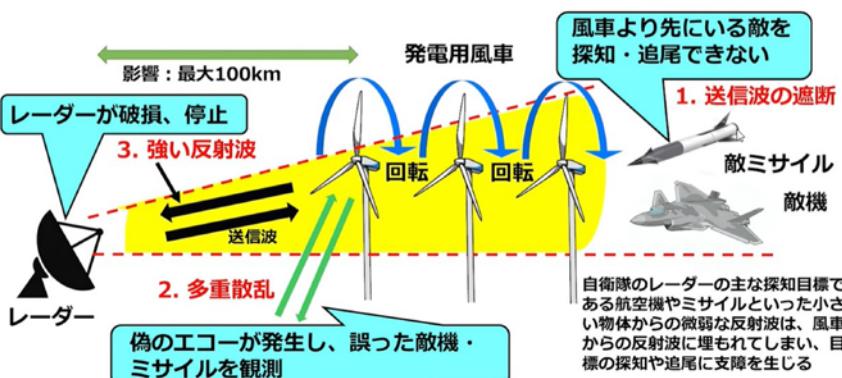
- 1. 送信波の遮断：風車により先にいる敵を探知・追尾出来ない
- 2. 多重散乱：偽りのエコーが発生し、誤った敵機・ミサイルを観測する
- 3. 強い反射波：送信波によりレーダーが破損、停止する

自衛隊レーダーの主な探知目標である航空機やミサイルといった小さい物体からの微弱な反射波は、発電用風車からの反射波に埋もれてしまい、目的に探知や敵機追尾に支障を生じる。その悪影響は最大 100 km であり、主に三つが挙げられる。

三、風車が兵器になる

また、機会もいただいて感謝を申し上げます。（以下、略）

発電用風車がレーダーに及ぼす主な影響



出典：デイリー Will より <https://www.youtube.com/watch?v= hvLk14alfAQ>

萩生田大臣の答弁にある「事前相談して、そこはレーダーに干渉するからやめてくれと言われると、その情報（レーダーの能力に関する）を相手に与えてしまうことになると思いますので、……」とは、いさかか詭弁ではなかろう

か。政府が進める国家安保戦略（NSS）など戦略3文書の改定に向け、実効性のある対策の検討を急いでいるとはいえ、甚だ疑問である。現在目に余る野放図な設置状況を見るに粗忽^{そごつ}があり、調査して熟慮検討した上の許可とは到底思えないのだ。

しかも、その多くが中国製ともなれば、どのようにコントロールされているか、或いは内蔵されている秘密機器があるか、分からな

道内の「北の守り」国防上、重要レーダーサイトが奥尻、襟裳、当別、根室、網走、稚内の六ヶ所に点在している。

● 稚内地域では、2017年段階で、風車が既に100基稼働、またその周辺には、107基の建設予定。1万～2万年前のウルム氷河期に形成された北海道遺産の「宗谷丘陵」地区に、惜しげもなくそそり立っている。さらに、絶滅危

四、道内各地の現状

道内の「北の守り」国防上、重要レーダーサイトが奥尻、襟裳、当別、根室、網走、稚内の六ヶ所に点在している。

● 稚内地域では、2017年段階で、風車が既に100基稼働、またその周辺には、107基の建設予定。1万～2万年前のウルム氷河期に形成された北海道遺産の「宗谷丘陵」地区に、惜しげもなくそそり立っている。さらに、絶滅危

か。政府が進める国家安保戦略（NSS）など戦略3文書の改定に向け、実効性のある対策の検討を急いでいるとはいえ、甚だ疑問である。現在目に余る野放図な設置状況を見るに粗忽^{そごつ}があり、調査して熟慮検討した上の許可とは到底思えないのだ。

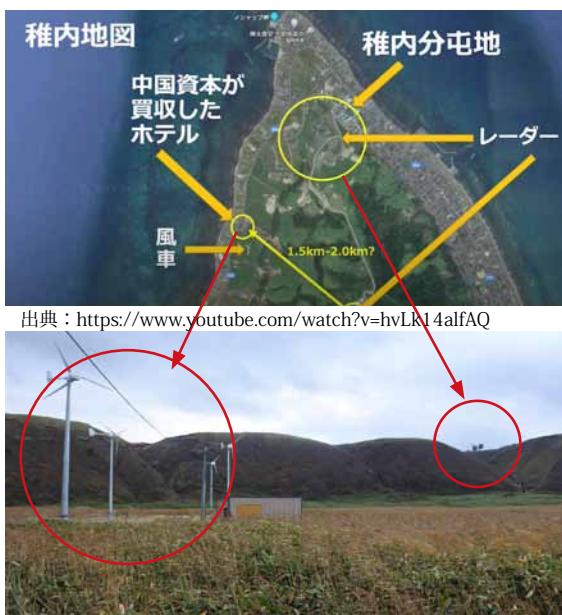
しかも、その多くが中国製ともなれば、どのようにコントロールされているか、或いは内蔵されている秘密機器があるか、分からな

道内の「北の守り」国防上、重要レーダーサイトが奥尻、襟裳、当別、根室、網走、稚内の六ヶ所に点在している。

● 稚内地域では、2017年段階で、風車が既に100基稼働、またその周辺には、107基の建設予定。1万～2万年前のウルム氷河期に形成された北海道遺産の「宗谷丘陵」地区に、惜しげもなくそそり立っている。さらに、絶滅危



<https://www.youtube.com/watch?v= hvLk14alfAQ>



中国系資本関連とみられる企業に買収された土地の付近に建設された別の企業による風力発電設備。写真右の山上には自衛隊分屯地のレーダーサイトが見える

<https://special.sankei.com/>

位置する北海道稚内市の野寒布岬^{ノシャップ}。背後の高台にはロシア国境に目を光らせる自衛隊分屯地のレーダーサイト。周辺の土地は数年前、風力発電業者らが我先にと買い漁つた。中でも基地関係者が「分屯地の喉元^{のどもと}」と表現する近接地1km内を、中国系資本が関与する事業者が取得していた。誰が何のために買収したのか。

● 旭川には、稚内レーダーサイトで得た情報を、中継基地を使い、全国に流す重要な電波塔がある。上にスキー場の「カムイスキーリンクス」。その施設から約1キ

口強離れた山林約3万8000m²が、2016年道内の中中国系企業に買収された。元自衛隊海将・伊藤俊幸氏は「電波塔が破壊されたら、自衛隊の指揮系統が切断される」と語り、顔色を変えた。安全保障上重要な施設周辺や国境離島を対象とする「土地利用規制法」が一部施行されたが形ばかりで、このような法律であることを免れない。

●自衛隊襟裳分屯レーダーサイトの山は、300m内でドローン飛行禁止の重要な秘密基地である。



<https://www.youtube.com/watch?v=hvLk14alfAQ>



Blue Power えりも風力発電所 1

<https://www.youtube.com/watch?v=Yra9z49KWVw>



道内の豊かな山林。自衛隊施設の近くが狙われている。

[https://www.zakzak.co.jp/](https://www.zakzak.co.jp)

林立している。最初の日本風力KK企業から米国投資ファン「ペインキャピタル」に転売。さらに、「上海電力」関係の「ブルーキャピタル」社が、2カ所近くに設置稼働中である。

●当別では、既存の石狩エリアの3基に加え、12基の発電所が、当別分屯基地の自衛隊航空レーダーサイトを混乱させるように横並びに建てられる。これも「上海電力」と繋がる「水杜の郷」なる企業が起こした西当別風力発電事業。(4ページ「想定買収スキーム」



【小野寺まさるvs平井宏治】緊急特別企画！中国「北海道侵略」背後の仕掛け人【デイリーWILL】



出典：石狩湾洋上風車建設 反対道民連絡会 署名サイト Change.org より

参考) これから計画で石狩と合わせて51基。衆富望地区にも最大8基予定。いずれも、3・5・5kmの基地圏内にある。

6章「みんなと数珠繋ぎ」 それほど、自民党高市早苗政調会長に、当別町長と町議会議長が、上京して直訴した。(『風の祈り』)

●石狩湾の洋上風力

ところが、眼前の石狩湾にはほとんどない洋上風力発電計画が次々と発表され許可されている。

ど町と町民が一体になつて反対した。だが、それでも、未だ固まつた状況で動かない。町の声は、道にも国にも届かない。

人たちの声を集め
て、「こんなに多

あの関電が、ローターの直径が
220～236m、高さ250
～270mの最大級の超メガ風車
を130基建てるという。更に9
つの事業社が次々と名乗りを上げ
て、現在1217基という途方も
ない数に達している。そして、室蘭、
松前、苫小牧等々に連鎖して行く。
これは、北海道破壊活動の何もの
でもない。

●署名活動は選挙と同じ

昨年11月19日に開かれた仁木町
での学習会に小野寺元道議は、
「いろいろな問題があるものを地元
の人々が嫌だと言っているのに、「何で
よそ者がそこに風力発電を立てて、
しかも自分たちの電気でないものを
外に持つていかなきやいけないんだ」
というような議論は、地元でして、
地元が判断するべきなのに、そういう
制度になつていないと問
題です。

国会議員に言つても、ほぼほぼ何
の役にも立ちません。

皆さんが地元の
人たちの声を集め
て、「こんなに多

風力発電も太陽光発電も「固定
価格買取制度」、FITもFIP
も、同じである。

国立公園・釧路湿原に拡がる東
京ドーム1,000個分のメガソーラー^{パネル}の大平原である。

醜い自然の残骸が、一周約2.5km
も延々と覆われている。希少生物
の生息環境や景観破壊、さらに湿

くの地元の人々が反対している。何
事だ！」と言うしか、本当にそれ
しかないんです。

署名活動等々多くの仲間が力を
合わせて声を挙げてもらいたいと
思います」
と強く述べられている。

五、FIP制度の問題点



「仁木町の風力発電を考える会」発行
原の保水力も低下。氷河期の遺存
種、両生類「キタサンショウウオ」
の生息地でもある。22年1月に、
国内希少野生動植物に加えられ、
絶滅危惧IBランクが2段階
アップされた。これも一挙に危険
度が増したからだ。

●規制緩和で国立公園も許す、 に

市街化調整区域で、「市街地の
拡大を抑制し自然環境に配慮した
形で土地利用を図る」とされ、地
目は大半が原野。太陽光発電設
備は「建築物」とはみなされず、
出力4万KW以上の巨大メガソーラー



<https://www.dax-jp.com/palestsolar/results/>



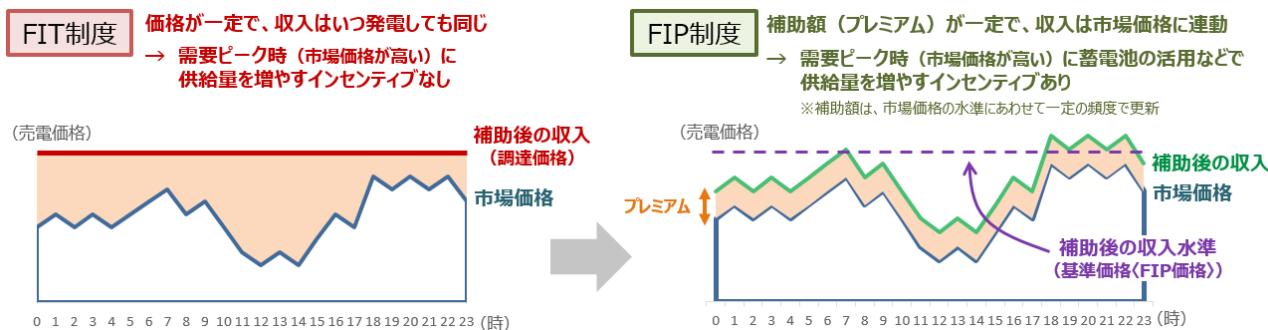
ソーラーパネルの大海。冬場積雪で機能低く、耐用年数も短い。<http://take4-san.cocolog-nifty.com/blog/2023/03/post-4bc12e.html>

原の保水力も低下。氷河期の遺存
種、両生類「キタサンショウウオ」
の生息地でもある。22年1月に、
国内希少野生動植物に加えられ、
絶滅危惧IBランクが2段階
アップされた。これも一挙に危険
度が増したからだ。

国立公園内での再エネ禁止の法 案成立も早急に必要ではないか。

これらソーラー事業のオーナー
は、世界中から、投機マネーを目
的に、群がっている。FIP制度は、
以前のFIT制度の一定の売電価
格から、変動する市場価格に同額
のプレミアム基準価格を安定的に
享受される。100%儲かる仕組
みなのだ。日本中の土地を買い漁
り、風光明媚な自然を破壊尽くし

ラーや外は、環境アセスメント（環
境影響評価）の対象とならない。
経年でパネルの有毒重金属類が温
地に垂れ流される。この過失をど
うするのか。



出典：<https://emechange.jp/articles/fip>

ても、何とも思わない金の亡者達の仕業なのだ。それは、愛する自國でないからだ。

最後に、決定権を持つ人に問い合わせたい。

町長に問う。この町で生まれ育つたならば、かくも傷付く町民を見捨てられますか。

知事に問う。道産子でないですか。大臣に問う。この国で生まれ育つたはずだから、こんな悲しい祖国であつていいはずはないですね。

六、「再エネ栄えて、國亡ぶ」の再エネ、悪の構造

年々吊り上がる電気料金。陸続として建てられる風車。その理由を、構図で示したい。

- ① 外国政府は、日本に子会社（公司）を作る
- ② 各地に、風力発電所を作る
- ③ 高値で電力会社（北電など）は

外資子会社から電気を買い取る地元電力会社は、電気料金に再エネ賦課金を上乗せする

④ 地元電力会社は、電気料金に再エネ賦課金を上乗せする

⑤ 子会社は、再エネ議連の議員に政治献金している

⑥ その政治団体は、「地球環境・脱炭素のため、再エネ推進！」と利益誘導して国民を洗脳する

⑦ 外国政府と再エネ議連は、win-winの関係となつている

⑧ 子会社は、納税の後は、配当を本国に送金する

⑨ また、地質調査した情報結果も本国政府に送る

「風力発電」闇の構造



出典：【平井宏治】上海電力「メガ風車建設」の目的は自衛隊レーダー妨害か【ディリー Will】 <https://www.youtube.com/watch?v=hvLk14alfAQ>

⑩ 陸上洋上の風車は、自衛隊のレーダー網の送発信波・反射波を攪乱して防空能力を低下、無力化させる

つまり、これは日本の乗つ取りです。侵略です。弱体化です。武力を使わずに、内部から日本は切り崩されているのです。それに、國民は氣付かなければいけない。空恐ろしいことが、今我々の身邊に起こっている。反日の再工ネ議連が、既得権益行使し、亡国の暗躍議員となつて、國民を裏切つているのです。日●友好なんかの善言美辞のプロパガンダに惑わされないでください。今、日本は滅びの道を真つすぐに、突き進んでいるのです。

七、最悪のシナリオ

これは、あくまでも架空の筋書きだと思って聞いていただきたい。当別・石狩のレーダー基地は北海道の首都札幌を守る要だ。中北國、ロシア、北



出典：防衛省 <http://www.clearing.mod.go.jp/>



市对美元汇率中间价上调29个基点。 CCTV新闻 美国和

<https://www.nishinippon.co.jp/image/353116/>



<https://milirepo.sabatech.jp/>

朝鮮からの最重要な盾なのだ。この要塞が崩れたら、敵国の思う壺というより、最初から「超限戦」での計画済みで、着々と作戦を推し進めているだけのことだ。一旦、有事になれば、「国防動員法」で、在日●○人は、総決起して反日活動を始めるだろう。手当たり次第の殺傷、強奪、強姦は厭わない。それは、チベット、モンゴル、ウイグル、香港の侵略を顧みれば、最悪の事態が想像されるに難くない。それと共に日本海側、殊に石狩、小樽、余市、古平にかけての湾港は、軍用艦隊が押し寄せ、さらに後々、群がる移民・難民のピースボートが我先にと、町場に溢れ返るだろう。時既に、自衛隊のレーダーは乱立する風車に攪乱されて、軍用機も迎撃ミサイルも、微動だに用を成さない。

北海道の地下から上空まで調べ尽くした指令党本部は、本国のよう自在に各市町村を抑え込むだろう。北都札幌は、完省の首都に変換される。新千歳国際空港も、完全に制圧されて、軍の指揮下にあつて厳戒態勢、渡航は禁止、一斉に道民は統制される。全道は植民地化、道民は奴隸である。

今、「台湾有事は、日本有事」と呼ばれ、尖閣諸島の危機が日々叫ばれている。どうして北海道も同じ運命帯であることを肯んぜないのか。妄想ではない、極めて現実的なシミュレーションなのだ。尖閣は、あつという間に敵陣の手に落ち、沖縄列島は、最早日本ではなくなる、それが次々と燎原の火のよう北上して行く。

尖閣と共に第一次・第二次列島線は、易々と乗り越えられて、太平洋を突破してしまうのだ。北海道から、一挙に南下して遂には全土が奪われることに。

更に、ウクライナ戦争を機に、隣国への権利を主張するロシアの権内・宗谷方面への進撃も、有り得るほど有り得るのだ。

もはや、呑気に構えている猶予は、誰とて一刻もないのだ。

一方、道東釧路は、一帯一路の最東の拠点として空港と港は完璧に抑えられる。いやもう既に抑えられているではないか、釧路・白糠の首長に訊ねたい。

一方、道東釧路は、一帯一路の最東の拠点として空港と港は完璧に抑えられる。いやもう既に抑えられているではないか、釧路・白糠の首長に訊ねたい。

北海道の地下から上空まで調べ尽くした指令党本部は、本国のよう自在に各市町村を抑え込むだろう。北都札幌は、完省の首都に変換される。新千歳国際空港も、完全に制圧されて、軍の指揮下にあつて厳戒態勢、渡航は禁止、一斉に道民は統制される。全道は植民地化、道民は奴隸である。

だが、この悪夢は、あくまでも夢であつてほしい。嘘であつてほしいのだ。

その為にも、今、風車を阻止せねばならぬ。「再エネ」の魔の手に、あなたの手を貸してはならないのだ。

八、「風車は、風で回つていらない！！！」

最後に、誰もが驚愕する驚くべき実態を明かす。それは

「風車は、風で回つていらない、電気で回っている！！」

という事実だ。

推進派も、反対派も、この事実には唖然とするばかりだろう。



イラスト=キム・ジュン記者
©中央日報/中央日報日本語版

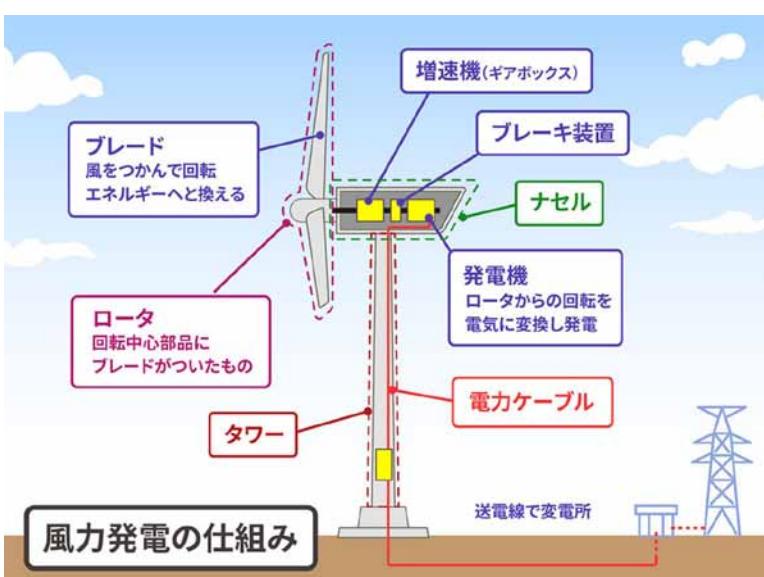
なつて、初めて「定格風速」それが、風速 $8 \sim 16 \text{ m/s}$ に

状態が続く。ほとんどの日、風車が回つていないので、風車が回つていないので、それを $3 \sim 5 \text{ m/s}$ 前後になつてコンピューターが作動して、漸く「カットイン風速」即ち「部分負荷運転」、外部電力（火力発電による「増速機（ギアボックス）」で「ブレード（羽根）」を回し始めるのだ。それが、風速 $8 \sim 16 \text{ m/s}$ に

20000 kW の風車の場合、強化プラスチック（RPF）のプレートが約30t、発電機などの入れ物が数百t。この重たい風車が、仁木・余市の通年、平均風速が 2.3 m/s 前後（11P表参照）で、回る訳がないはずだ。これは冷静に考えると、小さい子でも理解できる。それが、何故、疑問視されなかつたのか。微風状態でも、回つているからだ。だが、それは半ば偽装ともいえる錯覚だつたのだ。

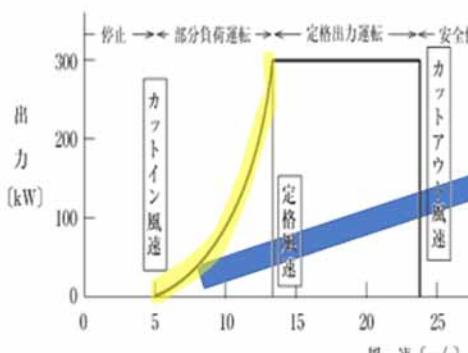
風速 5 m/s 前後まで停止

にバトンタッチする。その間、外部電力で回転しているのだ。それが、ほとんどの時間帯だろう。風速 8 m 以上は、少なくとも仁木では滅多に吹かないから、結局は、「風車は回つていない」の一言に尽きる。だが、風速 $24 \sim 25 \text{ m/s}$ になると「カットアウト風速」と言って、一気にブレーキ装置が働き、回転を止める。台風並みの強風になると

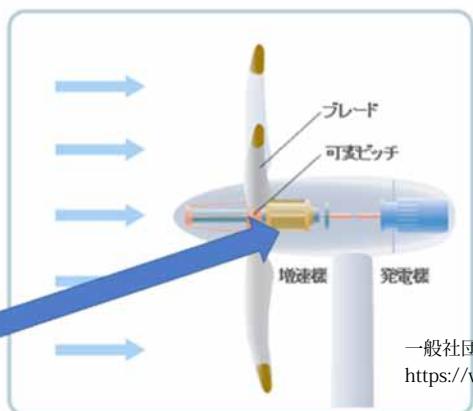


出典：https://media.kepco.co.jp/_ct/17524643

カットイン風速	3 ~ 5m/s
定格風速	8 ~ 16m/s (定格出力に依存)
カットアウト風速	24 ~ 25m/s



第5図 風力発電のパワーカーブ



一般社団法人 新エネルギー財産
<https://www.nef.or.jp/> より

外部電源で風車は回っている
その回転売電で固定制度金を取得
風車は補助金目当て

みた。すると、仁木町は余市町の豊丘地区に地域気象観測所（アメダス）の無人測定器が設置されている。何とそこは、今回の一ウインドファーム計

らの多額の補助金目当てだ。こんな詐欺話に、巨万の金と労と人と嘘をつぎ込んでいたのだ。各地の発電量を見れば、一目瞭然、初期発電の多さを物語っている。

は、風車以外の外部電気で操作されていることになる。言つてみれば、安い外部電力でブレードを回して、再エネ電気料金に代えて、それを利差也

ブレードが破壊され飛散してしまったからだ。各地の風車の事故は、皮肉にも風の災害なのだ。

語道断といつも恥ずかしい。この一件だけで、風車を論議するに値しないだろつ。

れ以上の風は、吹いた試しがなかつたのだ。

こんな馬鹿々々
しい話が有ろう
か。騙す方も騙さ

も満たないのだ。
しかも、順当に回
転する15mは、驚
く勿れ、年間0.1
回、10年に1度
きりしかない。そ

3 定格風速
回転する日は、年

い。 画の山々のワイナリーに在る。下記の91年から20年にわたる過去30年の平均値をデータで見て頂きた

余市 年平均値(年・月ごとの値) 詳細(風・日照) 〈札幌管区気象台〉

要素	風速					最多風向	
	平均風速 (m/s)	各階級の日数					
統計期間	1991～ 2020						
資料年数	30	30	30	30	30	30	30
1月	2.2	0.7	0.0	0.0	0.0	24	南西
2月	2.5	0.9	0.0	0.0	0.0	24	南西
3月	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0	25	南西
4月	3.1	1.2	0.0	0.0	0.0	29	南西
5月	2.7	1.1	0.0	0.0	0.0	25	南西
6月	1.9	0.1	0.0	0.0	0.0	21	南西
7月	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	22	南西
8月	1.8	0.1	0.0	0.0	0.0	26	南西
9月	1.9	0.1	0.0	0.0	0.0	32	南西
10月	2.1	0.2	0.0	0.0	0.0	31	南西
11月	2.2	0.4	0.0	0.0	0.0	29	南西
12月	2.1	0.5	0.0	0.0	0.0	25	南西
年	2.3	6.8	0.1	0.0	0.0	26	南西



無人アメダス（余市町豊
丘町 64）筆者撮影

後志で180m×113基の陸上風力発電建設計画が進んでいます。



風車ゾーン

この仁木銀山の地上から200m高の所に、超巨大風車200m級の風車を6基、さらに大江、然別、さらには余市から古平にかけて計64基。更に、赤井川、小樽と、後志圏内で計113基が計画されている。しかも、当別・石狩湾沿いで80基、洋上風力は250基、9事業所では何と1217基の環境アセスメントの手続き中なのだ。この異常さを、何に喻えようか。

何のための風車発電なのか。これは、外資と再エネ議連と事業者の利権以外の何ものでもない。正に「再エネ栄えて、國亡ぶ」なのだ。

一切、電気使用者、國民の為には何もなっていない。負担金が増すばかりだ。では、何のためなのか。

岩内・泊・共和から石狩にかけ太いゾーンに風車群を立ち並べ

風車は、先端兵器なのだ。
決して、再生可能エネルギーでも、環境にやさしい訳でもない。
とんでもない殺人武器、亡国軍器ともなることを、心して肝に銘じられんことを。

何のための風車発電なのか。これは、外資と再エネ議連と事業者の利権以外の何ものでもない。正に「再エネ栄えて、國亡ぶ」なのだ。

一切、電気使用者、國民の為には何もなっていない。負担金が増すばかりだ。では、何のためなのか。

岩内・泊・共和から石狩にかけ太いゾーンに風車群を立ち並べ

結論、「風車で、電気は起きていなかつたのだ!!!!」

この仁木銀山の地上



させ、石狩湾沿いに陸上・洋上の風車の大森林群を並べる。それは、西から道都札幌と外国への玄関口千歳を封じ込めるためだ。

完全に自衛隊のレーダー、通信網を遮断する以外のものではない。

有事の際、一斉に全風車

をコントロールして高速回転させ、自衛隊の通信、情報網を攪乱することは容易に想像できる。また内部構造に何かのAI秘密機器が内蔵されているかは全く不明なのだ。送発信の根元を断てば、完全に自衛隊は手足を奪われ、無力化した玩具でしかなくなる。

それを、いみじくも、暗に小野寺元防衛大臣が危惧し示唆したことはなかつたか。